2022年度研究業績等調査票作成要領

　2022年度に当部門の施設を利用した研究活動に関する研究業績等について、下記の様式でご記入の上、電子メールにてご提出をお願いします。ご提出いただいた調査票は、応用加速器部門の年次報告書等の資料として活用いたします。提出は、学内の方は各研究室または研究グループの代表者の方からお願いします。学外の方は担当部門教職員の方からお願いします。（学外の方は下記の3．研究室・・は省略して結構です。）

提出期限：2023年4月28日　提出先: annual@tac.tsukuba.ac.jp

1.　研究室・グループ名

2.　代表者氏名・連絡先　TEL 　　　 E-mail

3.　研究室・グループ構成員（全員）

　氏　　名（ローマ字表記）例；筑波　太郎（TSUKUBA, Tarou）、所属、職名（または学年）

4.　研究業績（2022年4月1日～2023年3月31日の間に発表・刊行されたもの）

　（昨年度のアニュアルレポート(UTTAC ANNUAL REPORT 2021)を参考にしてください。

[https://www.tac.tsukuba.ac.jp/tac/wp-content/uploads/annual/UTTAC-AnnualReport2021.pdf](https://www.tac.tsukuba.ac.jp/tac/wp-content/uploads/annual/UTTAC-AnnualReport2021.pdf）)

1. 学術誌に公表したオリジナル論文

著者名、標題、掲載誌名、巻（号）、発表年、始頁、[DOI…]の順に記載して下さい。

（和文の論文は著者名と標題を英語併記して下さい。）

（例）A. Uedono, W. Ueno, T. Yamada, T. Hosoi, W. Egger, T. Koschine, C. Hugenschmidt, M. Dickmann, H. Watanabe, “Voids and vacancy-type defects in SiO2/GaN structures probed by monoenergetic positron beams”, J. Appl. Phys. 127 (2020) 054503(1-8). [DOI: 10.1063/1.5134513]

1. レビュー、解説、書籍等

（著者名、標題、掲載誌名(巻号)または出版社名、発表年、始頁、（あればdoi）の順に記載して下さい。）

1. 国際会議あるいは国内学会等における口頭あるいはポスター発表

全発表者名、標題、学会名、（開催場所、オンライン開催またはon line）、（年月日）の順に記載し、開催者から講演を依頼された場合は（招待講演またはInvited Talk）と文末に記載して下さい。国内会議については和文で、国際会議での発表は英文でお願いします。）

（例）上殿明良， 高島信也， 江戸雅晴， 上野勝典， 松山秀昭，M. Dickmann，W. Egger，  
C. Hugenschmidt，嶋 紘平，小島一信，秩父重英，石橋章司，“陽電子消滅法による Mgイオン注入 GaN の空孔型欠陥の焼鈍特性及び欠陥によるキャリア捕獲の研究”, 先進パワー半導体分科会－応用物理学会, オンライン開催 (2020 年 11 月 16 日). （招待講演）

1. 学位論文（博士、修士）卒業論文

（学位名、氏名（ローマ字表記）、論文名（英文の次に（和訳））の順に記載して下さい。

なお、学位名は、「修士（理学）」などの様に記載し、論文が和文の場合は英訳と共にローマ字表記の氏名を付けて下さい。）

1. 知財権に関するもの（特許など）。

筑波大学研究基盤総合センター　応用加速器部門（2023年3月1日）